

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 長生村

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額 C	標準財政規模 A+B+C
1,919	1,181	263	3,362

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	4,937	4,729	208	180	112	3,734	
一般会計等	4,937	4,729	208	180		3,734	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち-一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	1,762	1,628	134	134	85	-	-	
老人保健特別会計	27	0	27	27	-	-	-	
介護保険特別会計	842	751	92	92	137	-	-	
後期高齢者医療特別会計	107	106	1	1	34	-	-	
公共下水道事業特別会計	731	730	0	0	301	4,258	3,739	法非適用
公営企業会計等 計				254		4,258	3,739	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち-一般会計等負担見込額	備考
千葉県市町村総合事務組合 (一般会計)	35,642	35,066	576	576	1,901	-	-	
千葉県市町村総合事務組合 (千葉県自治会館管理運営特別会)	290	261	29	29	-	-	-	
千葉県市町村総合事務組合 (千葉県自治研修センター特別会)	131	122	9	9	2	-	-	
千葉県市町村総合事務組合 (千葉県市町村交通災害共済特別会)	153	123	30	30	-	-	-	
千葉県後期高齢者医療広域連合 (一般会計)	5,171	5,099	72	72	153	-	-	
千葉県後期高齢者医療広域連合 (後期高齢者医療特別会計)	388,653	373,907	14,746	14,746	3,966	-	-	
九十九里地域水道企業団 (水道用水供給事業会計)	6,952	6,088	864	7,493	-	15,384	12	法適用
一宮聖苑組合(一般会計)	44	40	4	4	-	-	-	
長生市広域市町村圏組合 (一般会計)	6,235	6,122	112	112	-	5,282	364	
長生市広域市町村圏組合 (水道事業会計)	5,319	5,244	75	2,506	21	12,401	136	法適用
長生市広域市町村圏組合 (病院事業会計)	3,500	3,643	△143	271	-	2,094	103	法適用
長生市広域市町村圏組合 (火葬場・斎場事業特別会計)	309	292	18	18	-	465	-	
一部事務組合等 計				25,866		35,626	615	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
地方公社・第三セクター等 計			-	-	-	-	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度	平成21年度	差引
財政調整基金	626	670	44
減債基金	102	102	0
その他充当可能基金	1,116	1,306	190
充当可能基金 計	1,844	2,078	234

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	5.59	5.36	△0.23	△15.00	△20.00	公共下水道事業特別会計	-	-	-
連結実質赤字比率	13.59	12.94	△0.65	△20.00	△40.00				
実質公債費比率	11.6	10.8	△0.80	25.0	35.0				
将来負担比率	90.4	78.6	△11.80						
財政力指数	0.60	0.60	0.0						
経常収支比率	85.3	88.7	3.4						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経常健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。